



受賞する 大王谷学園 橋本慎朗 校長



文部科学大臣表彰の受賞団体（全国で121団体・学校）の中から、大王谷学園が唯一の代表に選ばれ、表彰状を授与され、事例発表を行った。これは本年度の全国の学校の中で「**日本一**」に選ばれたことになる。





事例発表（プレゼン）を行う、
飯干光誠先生（上）と、 長友晃一先生（下）







お倉ヶ浜

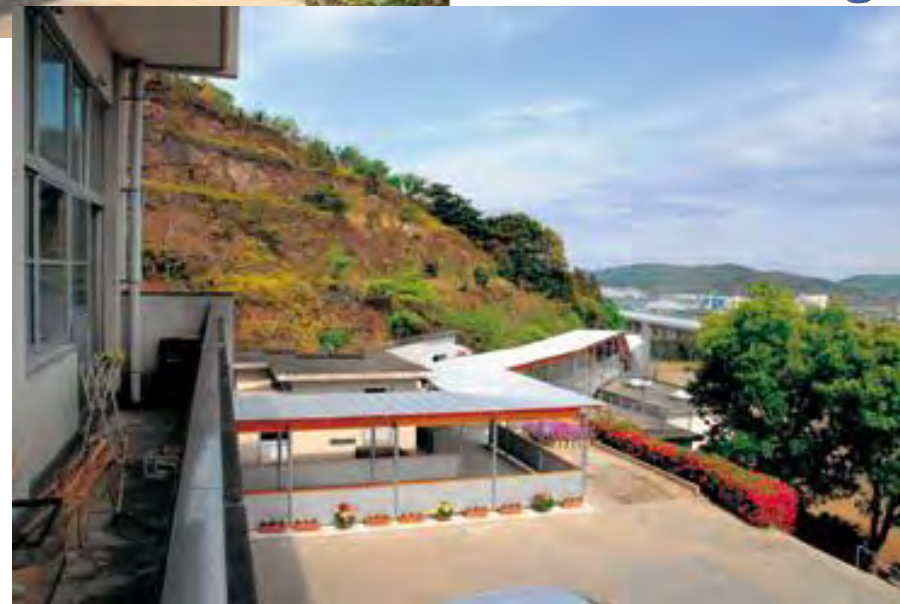


宮崎県
日向市



大王谷学園中等部

まなびの架け橋



大王谷学園初等部



数年前までは…

不登校・不登校傾向の
生徒の増加

非行等問題行動を
起こす生徒の増加

高校に進学できない
生徒の増加

一人前の社会人、職業人
に成長できるか心配



キャリア教育の積極的な推進

現在は…

不登校・不登校傾向の
生徒の大幅な減少

非行等問題行動を
起こす生徒が
いなくなる。

全生徒高校に進学

一人前の社会人、職業人
に成長できることが
期待できる

中央教育審議会の定義づけ

一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることをとおして、キャリア発達を促す教育



大王谷学園の「キャリア教育」の定義

キャリア教育とは、子どもを
「一人前の社会人・職業人」
「一人前の地域人」
「一人前の家庭人」
に育てる教育



「キャリア教育の視点」

「子どもと社会をつなぐ」「学校と社会をつなぐ」

キャリア教育の3つの取組

よい生活習慣を身に付けさせる取組

- あいさつ・返事、後始末、家の手伝い、立腰
- 早寝・早起き・朝ごはん

児童生徒

- 日向市キャリア教育支援センター
 - ・「よのなか先生」の活用
- 地域人材の活用

地域の人から学ぶ取組

- 授業改善
 - ・子供一人一人の理解度を1単位時間の授業の中で評価し、定着や習熟を図る時間の確保
- 地域人材の活用
 - ・はげまし隊(数学)
- 日向市教育委員会の支援
 - ・出前授業、花まる先生(算数)

学力をつける取組

子どもを「一人前の社会人・職業人」、「一人前の地域人」「一人前の家庭人」に育てる教育

- 時々端に貼じたあいさつができる生徒
- 時々端に貼じた返事ができる生徒
- 肩が揃いた字書環境を作り出すことができる生徒
- 家庭や地域の一人としての役割(お手伝い)を進んで行うことができる生徒

- あいさつ禮法を守ることができる児童
- 名前を呼ばれたら「はいっ」と返事ができる児童
- 身の回りの整理整とんができる児童
- お家のお手伝いに進んで取り組むことができる児童

あいさつ
源三
榎助末
お手伝い
のできる
児童生徒

《小中一貫の重点取組内容》
「一人前の社会人・職業人」、「一人前の地域人」、「一人前の家庭人」になるために必要なスキル

腰骨を立てて正しい姿勢（立腰）ができる児童生徒

早寝・早起・朝ごはんの習慣

中等部	9年	地域の人に学び 地域や自分の未来 を考える	社会人としての資質（ルール・マナー・エチケット）を身に付けることができる。	自分の能力や適性に順じて主体的な行動ができる。	自治的な活動ができる。	自分の目標を見つけ、その実現に向かって努力し、主体的な進路選択ができる。
	8年		主体的進路選択 ～よのなか教室をとおして～			
	7年		自他の立場を理解し、役割や責任を果たせるように行動することができる。	自分の能力や適性を知り、自らの力で困難を乗り越えることができる。	自分の取組を客観的に評価しながら、より良い方向へ進むように改善することができる。	係・委員会活動等との関連性を意識しながら活動することができる。
初等部 高学年	6年	進んで 地域とつながり 地域のよさを 発信する	相手の立場に立って考え、適切に行動することができる。	自分の長所や欠点に気づき、自分らしさを発揮することができる。	自分の行動をふり振り返り、問題点を改善しながら最後までやり通そうとすることができる。	憧れとする職業を持ち、今やるべきことを考えることができる。
	5年		地域とのつながり ～大王谷の福祉について考えよう～			
	4年		周りの友達の意見を尊重しながら、自分の意見も堂々と発言することができる。	自分の長所や欠点に気づき、自分らしさを発揮することができる。	自分の行動をふり振り返り、問題点を改善しながら最後までやり通そうとすることができる。	憧れとする職業を持ち、今やるべきことを考えることができる。
初等部 中学年	3年	地域と より深くかかわり 地域のよさを学ぶ	友達のよいところを認め、がんばりを励まし合い、過ちを許し合うことができる。	してよいことと悪いことを正しく判断し、行動することができる。	自分の行動に責任を感じて、最後までやり通そうとすることができる。	憧れとする職業を持つことができる。
	2年		地域の特産物 ～地域ブランドのひみつをさぐれ！～			
	1年		自分の意見や気持ちを分かりやすく表現することができる。	自分のやりたいこと、よいと思うことを考え、進んで取り組むことができる。	自分の行動に責任を感じて最後までやり通そうとすることができる。	働くことの楽しさが分かり、係や当番活動に積極的に参加することができる。
初等部 低学年	2年	地域と かかわり 地域のよさを 知る	自分の考えをみんなの前で話すことができる。	してよいことと悪いことの区別ができる。	きめられた時間やきまりを守ることができる。	係や当番活動の大切さが分かり、進んで取り組むことができる。
	1年		レッツゴー町たんけん ～はたらくっていいな～			
	0年		あいさつや返事をするすることができる。	きまりを守ろうとすることができる。	自分のことは自分ですることができる。	係や当番活動に積極的に取り組み、それぞれの大切さに気付くことができる。
能力領域			人間関係形成・社会形成能力 多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聞いて自分の考えを正確に伝えることができることともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者との協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力である。	自己理解・自己管理能力 自分が「できること」「頑張れること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を高めるための理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学習する力である。	課題対応能力 仕事をする上での様々な課題を発見し、分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる力である。	キャリアプランニング能力 「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置付け、多様な生き方に開きのある情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力である。

学力向上

個々の教師の授業に対する チェックポイント

- 1 子供一人一人の理解度を1単位時間の授業の中で評価し、定着や習熟を図る時間が確保されているか？
- 2 指導内容が精選されており、テンポや間に配慮して授業を進めているか？
- 3 授業内容は子供の実態にマッチしている？（平均をやや下回る子供も理解できる内容か？）
- 4 教師の指示や発問は的確で、子どもに伝わっているか？（音量、話し方も）

- ◇ 日常の授業改善
- ◇ 授業公開
(年間一人2回ずつ)
- ◇ 花まる先生(初等部)
- ◇ はげまし隊(中等部)

授業改善の keyword
「分かる！・できる！」まで教えよう。

よい生活習慣を身に付けさせる取組

地域の人から学ぶ取組（キャリア教育支援センターからの支援、本学園地域コーディネーターの活用）

学力を付ける取組

地域の人から学ぶ取組

核となる体験活動

7年生

職業人取材学習



8年生

14歳のよのなか挑戦



9年生

よのなか教室



5年生

地域の産業〈細島港〉



4年生

地域のブランド



3年生

地域の祭り



1年生

ひろがれえがお



2年生

レッツゴー町たんけん



6年生

地域の福祉



6年生の実践 大王谷の福祉を考えよう

できることを主体的に考え、行動する力

1 福祉を知ろう



2 地域を知ろう(地域調査)



3 私たちにできること



4 作戦会議



学んだ知識や技能を活かして活動する

社会に貢献する活動の中で体験的に学ぶ

5 地域をよくし隊



6 地域への福祉活動報告

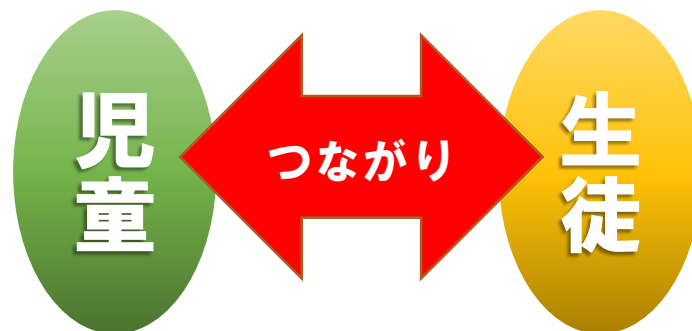


7 これからの地域人として



一人前の地域人として

初等部児童と中等部生徒とのつながり (福祉の学習をとおして)



7年生が学びの先輩として参加し、助言や気づき・感想を伝えることで、学びの“**つながり**” “**深まり**” “**ひろがり**” がみられた。

新たな取組を進める上で、7年生に相談し、アドバイスをもらえた。



7年生からの助言や感想をもとに新たな気づきをまとめることができた。

初等部
地域

7年生
人

8年生
社会

9年生
自己

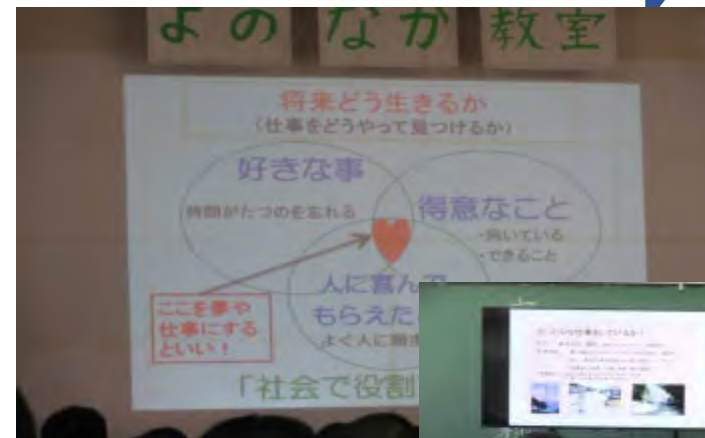
主体的進路選択



社会人にインタビュー
職業人取材学習



社会体験学習
14歳のよのなか挑戦



多様な考え方、生き方に学ぶ
よのなか教室

職業人取材学習

- 1 社会で働いている現場で
- 2 直接話を聞き
- 3 その人のものの見方や考え方に触れながら
- 4 自分の疑問を解決する

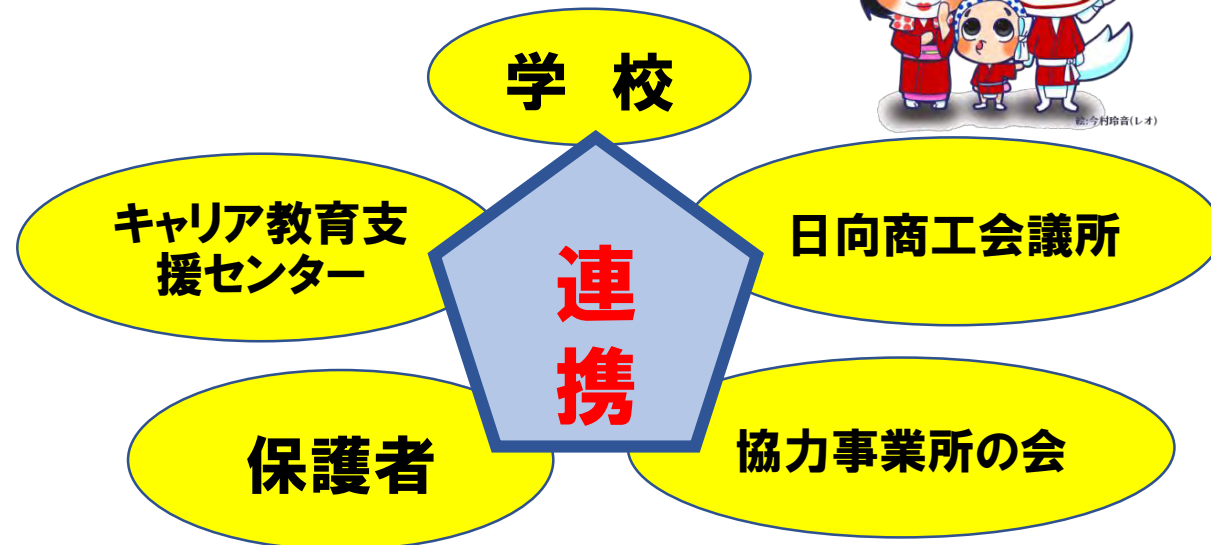
14歳のよのなか挑戦

- 1 単なる職業体験ではなく
- 2 可能な限り現実的な体験をし
- 3 働く目的や意義を理解し
- 4 現在の学習が社会に通じることに気づき
- 5 一人前の社会人を目指す

よのなか教室

- 1 社会人が真剣に語る考え方や生き方を聞き
- 2 自己の考え方や生き方と比較しながら
- 3 自分自身の「今」と「これから」について
- 4 気づき、悩み、考えていく

14歳のよのなか挑戦



体験の例

保育施設の場合

- 早番で、早朝からの園児の受入を体験
- 遅番で、園児の迎えや保護者とのやりとりを体験

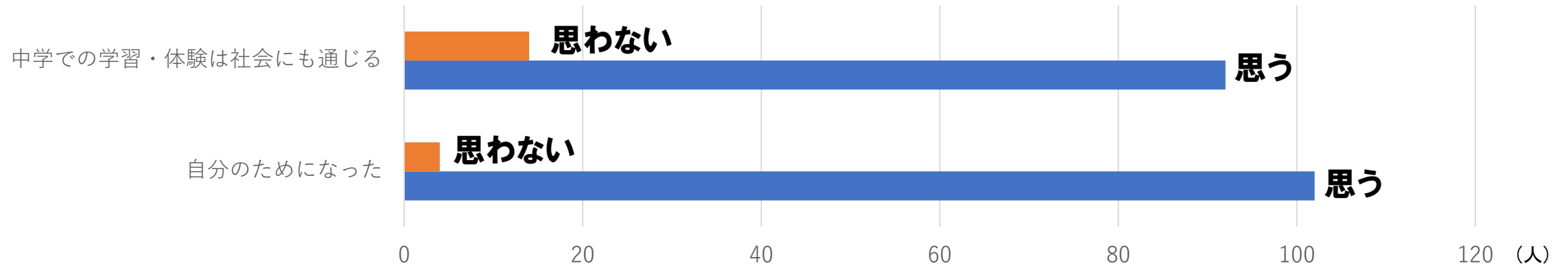
ホテルの場合

- チェックインの多い夕刻に合わせて体験

菓子店の場合

- 試食品の製造と店頭販売

H29 14歳のよのなか挑戦 事後アンケート



社会に出るまでに身に付けておきたいこと

- ☐ 基本的生活習慣（あいさつ、返事、言葉づかい、正しい身なり）
- ☐ コミュニケーション能力
- ☐ 行動力
- ☐ 気配りができる心や思いやりのある行動
- ☐ 笑顔や明るさ
- ☐ チームワークを考えた言動
- ☐ 学力
- ☐ 判断力、適応力、臨機応変に対応できる力
- ☐ 自主性

- ☐ 集中力
- ☐ 体力
- ☐ 機敏さ
- ☐ 想像力
- ☐ 計画性
- ☐ 後始末できる力
- ☐ 説得力のある話し方
- ☐ 誇り
- ☐ 責任感

これからの展望

これからの社会に求められる資質や能力
ついて一層明確にする。



明確にした資質や能力を社会と共有する。



社会と連携しながら子供を育てる。

「一人前の社会人・職業人」「一人前の地域人」「一人前の家庭人」に。



推薦理由

当該校は、数年前まで問題行動を起こす児童生徒や不登校児童生徒への対応に大変苦慮する状況であり、これらの生徒が高校に進学できない状況もあった。

そこで、その状況を打破し、児童生徒の出口（終業時、修了時、卒業時）の姿に責任を持つことができるよう、教育を進めていきたいとの思いから、キャリア教育に力を入れるようになった。

当該校では、「一人前の社会人・職業人」「一人前の地域人」「一人前の家庭人」を育てることを目指してキャリア教育に取り組んでおり、小学校1年生から中学校3年生までの9年間で系統性・一貫性・継続性のあるキャリア教育となるように教育内容を整理している。

1 子供に基本的生活習慣を身に付けさせる取組

子供たちを一人前の社会人・職業人・地域人・家庭人に育てるために日常生活の中での実践事項として「早寝・早起き・朝ごはん」「あいさつ」「返事」「後始末」「お手伝い」「立腰」を重点に置き、小中学校全ての学年で取り組んでいる。

(1) あいさつ、返事、後始末、お手伝いのできる児童生徒

基本的生活習慣を身に付けさせるために「あいさつ、返事、後始末、家の手伝い」を中心に各学年で指導を積み重ね、各取組について年に2回、児童生徒・教職員・保護者のそれぞれが評価を行い、その結果を分析して、その後の取組の改善に生かしている。

(2) 腰骨を立てて正しい姿勢ができる児童生徒

よい姿勢を保つことにより心身ともに健康でいられることや集中して学習に取り組めることを学級での指導や集会等で確認し、日々、実践している。

2 子供と社会をつなぐ取組

日向市キャリア教育支援センターが平成25年に開設され、日向市内において、産学官の連携によるキャリア教育に積極的に取り組んでいる。当該校では、授業の外部講師として当センターに登録されている「よのなか先生」をはじめ独自に発掘した人材も含めて年間200名以上を招へいし、多くの支援を受けている。

(1) 核となる体験活動

児童生徒がなりたいたい自分を見つける場面やなりたいたい自分を実現するために努力する過程として位置付けて、各学年の発達段階を踏まえた上で地域の方から学ぶ体験活動を展開する。

(2) 外部人材による授業支援

日向市キャリア教育支援センターの「よのなか先生」をはじめとする外部人材のスキルを活用し、授業を活性化させている。

3 子供に学力を身に付けさせる取組

学力調査の分析による実態把握とそれらに基づく授業改善を継続的、組織的にを行い、児童生徒の理解度と変容を正確に捉えた指導方法の工夫や個に応じた指導の充実を図っている。

(1) 日常の授業改善（授業改善プラン）

児童生徒一人一人が分かる喜びを感じ、学習内容の習熟、定着を図ることができる授業の改善プランを作成し、授業改善に取り組んでいる。

(2) 授業公開

全ての教員が年に2回以上の授業公開を行い、互いに参観することで授業改善に努めている。

(3) 外部人材による学習支援

外部人材の「花まる先生」（3年生の算数）や「はげまし隊」（7年生の数学）の学習支援により、児童生徒の学力向上を図っている。

4 取組の成果

実際に働いている人から話を聞くことで、学校での学びが将来につながることを理解が広がり、学ぶ意義が明確になっている。

あいさつや返事、言葉遣いなどの礼儀作法も改善され、社会人としての基礎を身につける機会になった。

第11回 キャリア教育優良教育委員会、学校及びPTA団体等文部科学大臣表彰 受賞団体一覧

別添 1

都道府県等	教育委員会の部	学校の部			PTA団体等の部
北海道		北海道平取高等学校			
青森県		大間町立大間中学校			八戸市立小中野小学校・小中野中学校 地域学校連携協議会
岩手県	盛岡市教育委員会	通野市立通野中学校	岩手県立岩谷堂高等学校		
宮城県		大崎市立三本木中学校	宮城県名取高等学校		
秋田県	大仙市教育委員会	能代市立鶴形小学校	横手市立横手北中学校	秋田県立稲川支援学校	
山形県		山形県立庄内総合高等学校			「米沢チャレンジウィーク」実施協議会
福島県	福島市教育委員会	福島市立松陵中学校	西会津町立西会津中学校		
茨城県		筑西市立岡崎小学校	茨城県立明野高等学校		曲がり松商店街 活性化委員会
栃木県		宇都宮市立昭和小学校	栃木県立茂木高等学校		
群馬県		みなかみ町立新治小学校 みなかみ町立新治中学校	明和町立明和東小学校 明和町立明和西小学校 明和町立明和中学校	渋川市立渋川南小学校 渋川市立豊秋小学校 渋川市立渋川中学校	
千葉県		千葉県立松尾高等学校			
東京都	荒川区教育委員会	江戸川区立松江第四中学校	立川市立立川第五中学校	東京都立農芸高等学校	
		学校法人豊田学園 昭和鉄道高等学校	学校法人明徳学園 明徳高等学校	東京都立府中けやきの森学園	
神奈川県	川崎市教育委員会	神奈川県立平塚農業高等学校初声分校			一般社団法人 神奈川県ビルメンテナンス協会
新潟県	湯沢町教育委員会	佐渡市立金井小学校	糸魚川市立糸魚川東中学校	新潟県立柏崎工業高等学校	Good Job つばめ 実行委員会
富山県		富山市立新庄中学校	富山県立滑川高等学校	富山県立八尾高等学校	
石川県		石川県立小松工業高等学校			
福井県		坂井市立三国中学校	福井県立坂井高等学校	福井県立福西特別支援学校	
山梨県		山梨市立笛川中学校			
長野県	坂城町教育委員会	佐久穂町立佐久穂小学校 佐久穂町立佐久穂中学校	長野県飯田OIDE長姫高等学校		
岐阜県	高山市教育委員会	岐阜県立東濃高等学校	岐阜県立多治見北高等学校		
静岡県		磐田市立豊田中学校	静岡県立小山高等学校	学校法人松園学園 松園高等学校	
愛知県	大治町教育委員会	設楽町立田舎小学校	北名古屋市立天神中学校		
三重県		四日市市立山手中学校	津市立美杉中学校	三重県立南伊勢高等学校南勢校舎	
滋賀県		大津市立真野北小学校			
京都府		亀岡市立西別院小学校	京都府立久美浜高等学校	学校法人明徳学園 京都明徳高等学校	
兵庫県		丹波市立東小学校	西宮市立今津小学校	兵庫県立尼崎工業高等学校	
奈良県		奈良県立玉修高等学校			
和歌山県		和歌山県立紀伊コスモス支援学校			
鳥取県	南郷町教育委員会	鳥取県立鳥取商業高等学校			
岡山県		備前市立日生中学校	岡山県立林野高等学校		
広島県		坂町立坂小学校	呉市立広瀬中学校	広島県立大崎海星高等学校	
山口県		萩市立明倫小学校	山陽小野田市立厚狭中学校	山口県立西京高等学校	
徳島県		鳴門市第一中学校	徳島県立鳴門渦潮高等学校		
香川県		さぬき市立さぬき南小学校	坂出市立坂出小学校	香川県立高松商業高等学校	
愛媛県		松野町立松野中学校	愛媛県立西条高等学校		
高知県		高知県立佐川高等学校			
福岡県	同垣町教育委員会	福岡県立玄洋高等学校			福岡県立八女工業高等学校PTA
佐賀県		佐賀市立芙蓉小学校	佐賀市立芙蓉中学校	佐賀県立牛津高等学校	
長崎県		長崎県立中五島高等学校	長崎県立長崎工業高等学校	長崎県立佐世保工業高等学校	
熊本県		あさぎり町立深田小学校	菊陽町立菊陽中学校		宇土市立綱田中学校PTA
宮崎県		日向市立大王谷学園 (大王谷小学校・大王谷中学校)	宮崎県立都城西高等学校		
鹿児島県		霧島市立本原小・中学校	枝崎市立立神中学校	鹿児島県立瀬生高等学校	
沖縄県		那覇市立曙小学校	那覇市立豊屋小学校	読谷村立古堅中学校	読谷村立古堅中学校PTA
仙台市		仙台市立豊巻小学校			
横浜市		横浜市立老松中学校			
京都市		京都市立洛陽工業高等学校	京都市立伏見工業高等学校		特定非営利活動法人 アントレプレナーシップ開発センター
大阪市		大阪市立根くやこの花高等学校			
神戸市		神戸市立真福小学校			
熊本市		熊本市立一新小学校	熊本市立川尻小学校		
合計	11団体	101団体(小学校29校、中学校32校、高等学校44校、特別支援学校4校、合計109校)			9団体